由利本荘市立由利中学校 校報

根堀台だより

平成25年12月25日

第 88 号

校 訓「 進 歩（文 ）」「 健 康（武 ）」「 協 力（道 ）」

「チーム由利中」へのご支援 心から感謝申しあげます

校庭のメタセコイアも葉を落とし、冬本番の装いとなりましたが、この４月から比べると校舎の３階の屋根を越えるまで背を伸ばしています。

本校１３６名の子どもたちもまた同様に、それぞれの着実な成長が実感できた１年であったと思います。

今日１２月２５日（水）は２学期終業式。明日からは冬休みが始まります。平成２５年も本当に残すところわずかとなりました。この１年間本校の教育活動を物心両面で支えて下さった保護者の皆様や地域の皆様，そして本校に関わる多くの方々へ改めて感謝したいと思います。

この９ヶ月を振り返ってみると、１年生は心身ともに成長し、中学生らしい逞しさをしっかりと身に付けることができました。２年生は修学旅行を自分たちの手で成功させたことで、新たな由利中のリーダーへの道をしっかり歩み始めています。３年生は中学校生活最後の１年を、一人一人が大切な仲間という気持ちをもって、沢山の「よい思い出」をつくることができました。

年が明けると平成２５年度も３ヶ月となります。３年生の夢の実現、１・２年生の成長を願い、「チーム由利中　心ひとつに」力を尽くして参ります。今後ともより一層のご理解とご協力をお願いします。

どうぞ皆様佳いお年をお迎え下さい。

終業式の式辞から

今日で８３日間の二学期が終わります。
暑い夏，爽やかな秋，そして厳しい寒さの冬と３つの季節を過ごして今日を迎えました。

２学期の始業式で、３年生は進路の実現のために、１・２年生は由利中学校の中心的存在となるために、「本気」を出して頑張るようお願いしました。みんな「本気」を出して本当によく頑張った２学期だったと思います。大きな成長の跡が見えた２学期でした。沢山の人たちに「感動」と「思い出」を残してくれたことに心から感謝しています。春は「やる気」夏は「根気」秋は「本気」。さて、冬は何でしょうか？皆さんへの宿題とします。

これはヨーロッパのお話です。昔二人の男が大きな暗い森の中で道に迷いました。昔、森は悪魔の住むとても恐ろしい場所だと言われていました。
一人の男は自分の力に自信がありました。少しも恐怖や不安を感じることなく，出口を目指して黙々と歩きました。しかし，何日歩いても出口が見つからず，さまようばかりでした。男は立ち止まってふと周りを見回すと，そこは道に迷った最初の場所でした。男は困り果ててその場に座り込んでしまいました。
もう一人別の男も森に迷い込んでしまいました。男はあわてず，じっくりと考えました。ずっと夜になるの待ちました。男は夜空を眺め，ある星を探しました。そして，その星を見つけるとその星を頼りに方角を見定めて歩き始めました。男はやがて大きな森から抜けることができました。

この話から皆さんはどんなことを学ぶことができるでしょうか。星が男を助けてくれたのではありません。星が男に何かしてくれたのでもありません。星はただその男を照らしてくれただけで，男はその星の輝きを「道しるべ」として歩き続けただけなのです。　今皆さんは１３歳から１５歳、これから「人生」という大きな森の中を歩いて行きます。「人生」という「森」の中で迷うこともきっとあると思います。そんな時，自分を照らしてくれる星，「道しるべ」となる星を見つけることが大切です。「自分はこんな仕事をしてみたい」、「こんな生き方をしたい」、「こんなことができるようになりたい」、と言うような志、つまり「目標」を立てることで人は前へと進むことができるのです。そしてそんな「道しるべ」があれば、途中大きく道に迷ったり、道を外れたりすることはないはずです。

ここで、ある少年の「ぼくの夢」に係わる手紙を紹介します。
ぼくの夢はプロ野球選手になることです。そのためには中学・高校と全国大会に出て活躍しなければなりません。活躍するために練習が必要です。ぼくは三歳の時から練習を始めています。３歳から７歳までは半年くらいやっていましたが，３年生の時から今までは３６５日中，３６０日は厳しい練習をやっています。だから１週間で友だちと遊べる時間は５～６時間です。そんなに練習をしているのだから必ずプロの選手になれると思います。（中略）ぼくが一流の選手になって試合に出られるようになったら，お世話になった方に招待状を配って応援してもらうのも夢の一つです。
愛知県西春日井郡とよなり小学校　６年２組　鈴木一郎

この少年が誰か皆さんはもう気付いたことでしょう。
三年生は今、自分の進路の実現に向けて忙しい日々が続いています。今は迷わず、ただひたすら勉強するだけです。人生には勝負をかける大切な時があります。それが今です。好きなことを断ってでも頑張ってみて下さい。それは勿論めざす高校に合格するためだけでなく、この先人生の岐路に立った時、「勉強でつけた力」と「将来への目標」が皆さんの「星」となって「進むべき道」を必ず指し示してくれるはずです。

一、二年生も道しるべとなる星を見つけて下さい。自分のために今何をすべきか考えることは「前へ進む大きな力」となります。そして決めた目標は自分を照らす星となって、毎日の生活のあり方を決めてくれるはずです。

皆さん、この冬休み静かにこの１年を振り返ってみて下さい。勉強でも，運動でも，小さくてもいいから具体的な目標をしっかり立ててみて下さい。そして来年は，その目標目指して，毎日続けてみることです。

３学期の始業式に，１３６名全員が自分の道しるべとなる星（目標）を見つけ，全員元気に登校することを祈っています。
よいお年をお迎え下さい。